



# 立志 栗中だより

学校だより第8号  
足立区立栗島中学校  
校長 小山 節  
令和7年12月2日

秋から冬へ 校長 小山 節

朝日に照らされ、正面玄関前の桜と校庭の銀杏の紅葉が美しい季節となりました。気温の低い日が続くようになり、枝から葉が落ち、冬に近づいていることを実感しています。

11月にインフルエンザが流行し、本校において、学年閉鎖を実施しました。保護者の皆様には生徒の健康管理をしていただき、ありがとうございました。学校では、引き続き、手洗いがいの励行、乾燥防止のための水分補給、教室の換気に心がけ、感染予防に努めます。

11月中旬に到達度テストが実施されました。学年だよりを読んでみると複数の学年で「計画」について記載されています。そこで、今一度「計画」とは何か、考えてみたいと思います。第一学年の学年通信では、「計画→実行」について、記載がありました。「計画通りに勉強できない。」「やる気がでないときにどうしたらよいか。」という悩みについて、そのようなときは誘惑する物を遠ざけることが集中しやすいコツと紹介されています。また、第二学年の学年通信のタイトルは「計画を立てる重要性」でした。内容は学習計画表の確認をすると到達度確認テストまでの学習計画を立て、それをもとに学習を進めるところまでできていませんとあります。さらに「見通しをもつこと」や「逆算」して取り組むことの大切さにふれています。ここで私が伝えたいことは「ゴールの設定」です。何をゴールにするかは一人一人異なります。例えば、一日3時間学習するという目標の人もいれば、わからない問題を減らすという目標もあるでしょう。計画を立てられない理由は自分の未来の姿が描けないこと、その姿になるために言葉で表現することが難しいのではないかと考えます。イメージを言葉に表現することで、自分が設定したゴールを次々に越えることができるとさらに努力しようという気持ちが高められます。第二学年の先生は、点数だけに注目するのではなく、学習の過程に目をむけることが今後の生活に役立つことを伝えたかったのだと思います。これからの中学校生活において、参考にしていただけた幸いです。

地域の皆様、保護者の皆様に学校評価への回答のご協力を願っています。来年度の栗島中学校の教育課程を編成する上で、ご意見をいただき、よりよい教育活動を推進して参りたいと考えています。

## 11月1日(土)1・2年立志発表会

前の週には3年生の立志発表があり、それを受けた今度は1・2年生が立志発表を行いました。3年生の発表を題にして、目指すべき目標が明確に定まつたこともあり、どのグループも完成度の高い発表となりました。

調べ学習に重点を置いたグループ、プレゼンテーションにこだわったグループ、それぞれのグループがそれぞれの方法で発表の準備をし、本番を迎えるました。発表の内容や仕方は様々でしたが、発表を楽しむという姿勢は全ての人に共通の点で、それが栗中生徒の良さだと感じました。本番ではばらしい発表ができたのは、そこにたどり着くまでの過程がすばらしかったからです。経験は人を大きく成長させる、ということを改めて実感できました。

## 11月13日(木)~11月17日(月)到達度確認テスト

3年生は実技教科も含めた実施となるため3日間、1・2年生は2日間の日程で到達度確認テストを行いました。

3年生は受験に向けた大事なテストであったため、いつもにも増して緊張感がありました。目標に向かって頑張ろうという、前向きな気持ちが嬉しくもありました。また朝の挨拶運動の時間には、2年生が社会科のワークを片手に正門に立つ姿が印象的でした。日頃から1分1秒を惜しんで学習に向かうことが当たり前になっていることの証です。



## 11月17日(月)避難訓練～D級ポンプ～

11月の避難訓練は足立消防署の隊員の方々、地域の消防団の方々のご指導の下、火災を想定した訓練を実施しました。各クラス5名ずつ初期消火体験を行い、消火器の使い方を学びました。初めて消火器に触れる生徒ばかりでしたが、説明をよく聞き、適切かつ速やかに消火活動を行うことができました。最後は消防隊がD級ポンプを使用した消火活動を実演し、全校生徒で見学しました。消防隊のメンバーは事前に消防署の皆様からご指導をいただき、見事な消火活動を披露しました。いざという時には、自分の命は自分で守る、そのためには正しい知識が必要になります。このよう経験を通して、災害時には地域にも貢献できるような人になってほしいです。



## 11月18日(火)~21日(金)チョイス・オブ・ライス～食育～

食育の一環として、4日間にわたりお米の食べ比べ、「チョイス・オブ・ライス」を実施しました。一日目は「あきたこまち」、2日目は「粒すけ」、3日目は「萌えみのり」、4日目は「……」、最終日についてはシークレットで、栄養職員が作成した食味チャートやヒント動画を参考に、品種を当てるという初の試みを行いました。生徒達はいつも以上にじっくりとご飯を味わいながら、チャートとにらめっこをしていました。

またこの4日間はそのお米に合ったおかずが提供され、和食も楽しむことができました。洋食化が進む日本ですが、改めて和食の良さやお米の美味しさを実感することができました。食育朝礼でもこれに関連して、『だし』についても学ぶ機会を設けました。こういう経験こそが、食への興味・関心につながるとともに、将来にわたっての食育となるはずです。



